

「互いを知る」展示図書リスト

12月3日から12月9日は「障害者週間」です。こころのバリアフリーとなるよう「互いを知る」をテーマに身近なことから知ることができるような本を展示しています。

()は請求記号です。

『ワンダー』

R.J.パラシオ／作 ほるぷ出版 (Y92 ハ)

生まれつき「ふつうじゃない」顔のオーガストは、10歳ではじめて学校に通うことに。オーガストのことをさける生徒がいる一方で、オーガストの話面白いと感じ、そばにいる同級生も少しずつ増えていき…。

「ワンダー」の外伝で、オーガストが出会った3人の友だちのお話『もうひとつの WONDER』もあります。

『自閉症の僕が跳びはねる理由』

東田直樹／著 エスコアール出版部 (Y378)

自閉症の人の独特の話し方はどうして？ すぐに返事をしないのはなぜ？ 自閉の世界は、みんなから見れば謎だらけ。自閉症の著者が自閉の謎を説明することで、わがままや自分勝手などではないことをみんなに理解してもらいたい。そんな思いで自閉症の人の心の中を綴っています。続編もあります。

『小中学生のための障害用語集』

柘植雅義／編著 インクルーシブ教育の未来研究会／編著 金剛出版 (Y36.9)

障害に関わる重要で基本的な用語を取り上げています。用語は「あいうえお順」に掲載され、わかりやすくコンパクトに説明しています。気になる言葉を調べたり、読み物としても楽しめます。この分野で功績を上げた有名な人物の紹介もあります。

『ヘレン・ケラー』

筑摩書房編集部／著 筑摩書房 (Y282ケ)

生後19か月で視力と聴力を失ったヘレン・ケラー。障害を持っていること、女性であること。ふたつの大きな壁を乗り越え、大学まで進学し、博士号を2つも獲得した。障害のある人びとへの理解と援助を訴え続けた、奇跡の人と呼ばれるヘレン・ケラーの生涯を、紹介しています。

『新しい心のバリアフリーずかん』

中野泰志／監修 ほるぷ出版 (36.9)

わたしたちの社会には、赤ちゃんや子どもをつれた人、お年より、障害がある人、外国人など、さまざまな人たちがくらしています。「だれもがくらしやすい社会」をつくるには、どうすればいいのでしょうか？

さまざまな「バリア」を感じている当事者の声を聞き、困っている人を見かけた時に行動を起こせるように、ヒントや実践例を絵や写真とあわせて多数紹介しています。社会の「バリア」をなくすために必要な「心のバリアフリー」のヒントを紹介しています。

『パラアスリートたちの挑戦 3 -選手の目となり手となり足となる-』

越智貴雄／写真・文 童心社 (78)

パラスポーツでは、さまざまな形で選手を支える人たちがいます。選手をサポートする役目が多くあるのは、パラスポーツならではのと思います。ボッチャのアシスタント、水泳のタッパー、陸上競技の伴走者など、選手の目となり手となり足となつてともにたたかう人たちを写真で紹介しています。スポーツ用義足や車いすの研究者の話もついています。

タイトル	著者	出版社	請求記号
五体不満足 —完全版—	乙武洋匡/著	講談社	Y281 オ
だいじょうぶ3組	乙武洋匡/著	講談社	91 オト
アイちゃんのいる教室 —3年1組—	高倉正樹/ぶん・しゃしん	偕成社	36.9
アイちゃんのいる教室 —6年1組にじ色クラス—	高倉正樹/ぶん・しゃしん	偕成社	36.9
おんちゃんは車イス司書	河原正実/原案 梅田俊作/作・絵	岩崎書店	91T カワ
ベルナのしっぽ	郡司ななえ/著	角川書店	YF1 クン
夢色の絵筆 —ハンディキャップをのりこえる 少年画家・浅井カ也の物語—	遠藤町子/著	くもん出版	91 エン
希望の筆 —ダウン症の書家・金澤翔子物語—	丘修三/文	佼成出版社	36.9
車いすのカーくん、海にもぐる —障害者ダイビングの世界—	丘修三/文	佼成出版社	36.9
伴走者たち —障害のあるランナーをささえる—	星野恭子/著	大日本図書	Y36
チェンジ! —パラアスリートを撮り続けて、ぼくの世界は変わった—	越智貴雄/著	くもん出版	36.9
風を切って走りたい! —夢をかなえるバリアフリー自転車—	高橋うらら/著	金の星社	91 タカ
可能性は無限大 —視覚障がい者マラソン道下美里—	高橋うらら/文	新日本出版社	78
福祉業界で働く	戸田恭子/著	ペリかん社	Y369.17
五感の力でバリアをこえる —わかりやすさ・ここちよさの追求—	成松一郎/著	大日本図書	36.9
みんなでつくるバリアフリー	光野有次/著	岩波書店	Y369.27
みんなのバリアフリー 3 —みんなのできるバリアフリー活動—	徳田克己/監修	あかね書房	36.9
車いすで国会へ —全身マヒの ALS 議員 命 あるかぎり道はひらかれる—	船後靖彦、加藤悦子、 堀切リエ/文	子どもの未来社	36